

理事会 議事録

作成日	2020年6月3日
部署名	理事
担当者	藤川 彩夏

概要	日時	2019年4月14日(日) 10時~17時	場所	一般社団法人日本ろう者水泳協会 事務所	
	出席者	豊田 律 鈴木 しのぶ 大平 英一 猪飼 聡、手話通訳者2名(計6名)			
	目的	第1回理事会			

議事	議題	(1) 理事追加について (2) 定期総会について (3) 2018年度事業報告について 2018年度決算について (4) 2019年度事業計画について 2019年度予算案について (5) 第14回日本大会について (6) 強化事業について (7) 国際大会について (8) HPについて (9) アンチドーピング検査について		
	討議内容	(1) 藤田理事の辞任により代理として平田純氏を推したい。アジア大会の監督として選任しており、責任として理事には相応しいとのことから推薦した。本人も承諾をとっている。 (2) 5月6日(月・祝) 13時からビジネスホテル ふたかみにて開催することになった。 (3) 事業報告について確認途中、決算についても監査中であり、まとめ次第報告する。 (4) 事業計画について確認途中、予算についても監査中であり、まとめ次第報告する。 (5) 大会実行委員会について担当の大平さんが案を作成中。進捗も含めてまとめ次第報告する。 (6) 第1回強化合宿について5月2日から6日まで、奈良のスィムピアで開催することになった。要項を郵送し、参加者は選手8名、スタッフ7名の15名となった。 (7) 派遣事業委託において経験と対応を重視してグロリアツアーズに決定。4月28日から5月2日に豊田理事長と鈴木理事の2人が8月に開催する世界選手権大会の視察へ行くことになった。まとめ次第報告する。 (8) 世界大会の報告についてはFacebookにて報告することを考えている。現地では豊田理事長が報告をまとめて国内の藤川理事がFacebookにて報告する形にしたい。 (9) 今年12月の日本大会に実施する予定でいたが、担当の河合さんから実施は難しいとのことと実施を取りやめるか引き続き確認する。		
	決定事項	上記(1)~(9)において理事全員承認した		
	添付資料	2018年度活動報告 2019年度事業計画		
	次回予定	2019年11月17日(日) 8時~12時 一般社団法人日本ろう者水泳協会事務所		

	監事	理事長	担当	コメント欄
				

理事会 議事録

作成日 2019年11月17日

部署名 理事

担当者 藤川 彩夏

概要	日時	2019年11月17日(日) 8時~12時	場所	一般社団法人日本ろう者水泳協会 事務所	
	出席者	豊田 律 鈴木 しのぶ 大平 英一 藤川 彩夏 猪飼 聡、手話通訳者2名(交代制) (計7名)			
	目的	第2回理事会			

議事	議題	(1) アジア大会の中止によるキャンセルのご対応 (2) アジア大会の中止による年間スケジュールの見直し (3) 国際大会派遣(スタッフ)についての規程 (4) 第14回日本大会の進捗報告 (5) 業務分担について (6) 強化事業について (7) 強化スタッフについて (8) 当協会のHPについて (9) アンチドーピングについて (10) パラサポートの打ち切りについて (11) その他
	討議内容	<p>(1) ろうあ連盟：JPCによると、JSCとスポーツ庁とJPCとろうあ連盟との話し合いでキャンセル料について検討を続けている。そのキャンセル料が発生した場合はどうするのか。それに対して話し合う。強化事業：キャンセル料について実施報告として申請する。キャンセル料において助成の対象にできるかどうかはJSCが決める。 →10月のアジア大会説明会で配布された請求書を全員で確認し、キャンセル料に含まれる項目(ユニフォーム、旅行保険等)に曖昧なことがあったため、改めてろうあ連盟に確認する必要がある。ユニフォームは自己負担で、その他は協会負担にすることを全員賛成した。</p> <p>(2) アジア大会の中止により、強化事業の助成余剰が発生してしまう。その余剰をなくすためにあらためて事業を追加したい。→第6号議案にて話し合いをする。</p> <p>(3) アジア大会において今回からデフリンピックと同じく国庫からの助成を受けることになる。もちろん、スタッフも選手と同じく、一人あたり派遣料の3分の1を負担しなければならない。今回の場合、19万円も負担することになっていた。協会から負担することはかなり厳しい。スポンサーを募って募金する以外はない。もし、協会の資金が0円となっている場合、やむを得ず自己負担にしなければならない。それによって派遣を辞退するトラブルが見られている。そのトラブルが起こらないように規程を設けたい。今回は中止になったけど、二年後のデフリンピックに向けて至急対策を考えないといけない。しかし、派遣主体であるろうあ連盟の本部スタッフたちの自己負担は0円になっている。競技団体のスタッフも0円にすべきなんだろうか。国庫助成の国際大会に対して対策を考えないといけない。 →2017年のデフリンピックではクラウドファンディングを活用し、自己負担が軽くなった。その時期に豊田理事長にろうあ連盟に確認したことはどうなっているかと鈴木理事から確認があった。まず、過去の活動報告書を確認することはできる。前にもってろうあ連盟からの見積書を確認することはできる。ただし、鈴木理事、大平理事、猪飼監事はろうあ連盟会員ではないため、情報がみえないとのことで、ろうあ連盟会員になっている豊田理事長、藤川が情報を把握したり、竹中会長に相談して、上記キャンセル料の内訳を請求したり、併せて、その他、ろうあ連盟の情報公開を請求したりしていく。</p> <p>(4) 日本大会担当から進捗報告。ドーピング検査確認の連絡あり。実施可能か確認していただきたく。11/25(月)昼まで返事必要。来年度のスポーツ振興センターの助成は活用するかどうか検討したい。最低でも150万円(内50万円は協会負担)にしなければならない。来年の場所は相生の温水プールを考えている。締切日：1/7(火)必着 →ドーピング検査を実施したほうが、評価が高くなるので是非実施したほうがいい。</p>

	<p>(5) 強化事業と日本大会事業と協会事業の3事業について改めて再確認。 →杉野さんの業務を本人が負担かけないように豊田さんと相談すること、来年の理事を2名(平田さんと向さん)増やすこと。</p>
	<p>(6) 第2号議案により、追加する事業についての話し合い。国内の国際大会選考会へチームとして参加も今年からの対象となる。JP大会、日本大会、パラ春季記録会が対象で旅費を助成する。JPCから過不足調査実施があり、12/2(月)昼までに提出しなければならない。※日本大会の聴覚障害者用合図装置は対象できるか? →追加事業については理事たちからスタッフスキルアップ研修や高原の見学と意見があった。「日本大会の聴覚障害者用合図装置は対象できるか?」については、大平さんが職場に相談。</p>
	<p>(7) 強化スタッフの中に助成金において公私混同の恐れがあるので改めてスタッフたちに教育が必要。場合によってスタッフ規程を見直したい。 →前後泊の条件(飛行機じゃなくて新幹線)をしっかりとスタッフや選手に説明する必要がある</p>
	<p>(8) 専門性スタッフを設けて当協会のHPに関する業務を委ねたい。 →金持さんにやって頂くことは全員賛成。SNSにInstagramとTwitterを開設後、竹中会長からの提案だったバナーをHPの中に貼り付けることは実際にやってみたらできなかった。今の時代は、パソコンやスマホ、タブレットを使えるようになったのでいつでも見えるようにHPを変えたほうがいいと思うという意見があった。金持さんが作業しやすいように考えたらよいと思う。</p>
	<p>(9) いつかJADAへ加盟する方針なのでそれに対して専門性スタッフを設けてドーピングに関する業務を委ねたい。担当だった河合さんは自己都合による辞退があった。またJADAとして今年日本大会においてドーピング検査を実施する予定であるが、河合さんがいないので今回は実施を中止するかどうかを話し合いしたい。今回の日本大会での実施は中止するが、来年の日本大会についてはできたら実施できるように今から予算を作っていく必要がある。新担当として大阪在住の花井達弘さんか理学療法士の峰咲也果さんを考えている。 →2人については佐藤さんと相談してから決めることにする。 (情報共有)JADA主催アンチ・ドーピング定期研修会(東京:18時から19時半) 第2回(12/20金):〆切11/22(金)まで 第3回(2/21金):〆切1/17(金)まで</p>
	<p>(10) 来年3月末でJSC助成の規程により、パラサポートは打ち切られるため、現在、パラサポートを活用しているのは、事務所の家賃、事務局の給料、税理士への報酬など。事務所の場合、豊田の自宅の中に事務所を置く考えがあるが、スペースが狭く、今事務所においてある荷物の全てでは置けない。住所においても個人情報があるので住所などを貸し出すバーチャルオフィスがあって月々3000円から5000円で使えるが、郵便物の転送は週に1回まとめて転送することになり、すぐには届けられない。運営資金に余裕ができれば月々2万円以内の賃貸住宅を活用したい。税理士報酬について、今会計ソフトをレンタルして杉野さんが入力している。瀬口先生と相談したところ、来年度からは無償で会計ソフトを貸してくれることになっているが、協会が入力することが条件になっている。引き続き、杉野さんが入力していただければありがたいが、ボランティアとしてはいかず、少しは謝金を出したい。 →先に杉野さんに確認してから協会用のソフトを購入するか、瀬口さまに依頼するかを検討する</p>
	<p>(11) ・2020年度強化国内外合宿と試合のスケジュールについて 東京オリパラの関係で国内合宿は東京オリパラ後2回実施予定。海外合宿は5月のGWか年末どちらか1回は実施予定。日本ろう者水泳大会の日程は大平理事と豊田理事長と相談する。</p>
決定事項	上記(1)～(11)において理事全員承認した
添付資料	なし
次回予定	2019年12月14日(土) 14時～16時 スイムピア奈良

	監事	理事長	担当	コメント欄
認				

理事会 議事録

作成日	2020年1月26日
部署名	理事
担当者	藤川 彩夏

概要	日時	2019年12月14日 14時～16時	場所	スイムピア奈良
	出席者	豊田 律 鈴木 しのぶ 大平 英一 藤川 彩夏 猪飼 聡 手話通訳者3名(交代制) (計8名)		
	目的	第3回理事会		

議事	議題	<p>(1) 第14回日本大会の事前確認と第15回日本大会について</p> <p>(2) 第9回アジア大会について</p> <p>(3) 強化事業について</p> <p>(4) 第1回世界ろう者水泳選手権短水路大会について</p> <p>(5) HPについて</p> <p>(6) 協会メールの対応について</p>
	討議内容	<p>(1)</p> <p>1. ドーピング検査について メールした通りですすでにドーピング検査の会場は準備してある。</p> <p>2. 開催会場と助成について 来年度は相生市で開催する予定。デフリンピック選考会とする。相生の会場については猪飼監事の知り合いに確認することになった。ただ、来年度のスポーツ振興センターの助成は活用するかどうか検討したい。最低でも150万円(内50万円は協会負担)にしなければならない。締切日:1/7(火) 必着</p> <p>(2)</p> <p>ろうあ連盟から国際大会について情報共有した。アジア大会について今年度は中止になったが、来年度の10月に延期する、開催地について、現時点はヨルダンとバーレーン2か国に候補が上がっているとの情報があった。確定ではないが、念のために準備する必要がある。また2021年の夏季デフリンピックの会場(ブラジル)で開催することも共有した。後日ろうあ連盟から新たな情報が出たら引き続き全員へ共有する。アジア大会のユニフォーム・交通費などについてはJPCに確認中である。</p> <p>(3)</p> <p>1. 来年度のスケジュールについて 来年は東京オリンピック・パラリンピック開催するため、早めに来年度の国際大会と国内大会のスケジュールと強化指定合宿のスケジュールを確認した。15日の日本大会終了後、強化指定選手及び育成指定選手と保護者向け強化会議にて連絡する。ろう者の合宿は、基本的にはろう者が中心に企画運営をしていき、健聴者は裏方でサポートをしていく体制がいいのではないか?という意見が出された。</p> <p>2. スタッフ体制について 今年度の協会会員登録の状況による確認した。詳細は12/29の強化会議で見直す</p> <p>3. 日本障がい者スポーツ特別賞の対象者について 今回の推薦者は、世界大会にて金メダルを獲得した、茨・金持・藤原・津田の4名とした。12/24(火)までに藤川理事から対象者へ確認してメールする。鈴木理事と協力して手続きを行う。</p> <p>(4)</p> <p>12/6(金)にFacebookにて公開し、豊田理事長がTDに確認したら開催予定だったロシアには条件が国際ろうあスポーツ委員会の規則(コース数とアッププールの有無など)には合わず、ロシアでの開催は取り消しになった。ただ世界大会が中止するのではなく、他国から候補があれば連絡してほしいとのことを全員に情報共有した。</p> <p>(5)</p> <p>今年度は世界大会開催前に当協会の公式TwitterとInstagramとfacebookを開設した後の状況を報告した。開設後、「協会に入りたい」、「日本大会に出場したい」という問合せがあったことで協会のアピールにできたと思う。来年度も引き続き運営していく。ただHPについては金持さんと相談していく必要がある。</p> <p>(6)</p> <p>強化・協会・大会の専用窓口を設けてスムーズな対応をしていただきたい。協会専用メールは理事長と理事と監事の5名に設定して問合せメールを受信できるようにする。協会に関する問い合わせは、豊田理事長が受信した内容を確認し、それぞれの担当に指示する。強化・大会に関する問い合わせは、基本強化本部長の鈴木理事と大会実行委員会の担当の大平理事に設定して、問合せを対応できるようにする。</p>

決定事項	上記（１）～（６）において理事全員承認した
添付資料	2020年度日本ろう者水泳協会(合宿・大会) 予定一覧(19年12/14時点)
次回予定	2020年2月9日(日) 13時30分～17時 醍醐交流会館

	監事	理事長	担当	コメント欄
認				

理事会 議事録

作成日	2020年2月11日
部署名	理事
担当者	藤川 彩夏

概要	日時	2020年2月9日(日) 13時30分～17時	場所	醍醐交流会館
	出席者	豊田 律 鈴木 しのぶ 大平 英一 藤川 彩夏 猪飼 聡 手話通訳者2名(交代制) (計7名)		
	目的	第4回理事会		

議事	議題	<p>(1) 第14回日本大会の反省と課題、来年度の第15回日本大会について</p> <p>(2) 強化事業について (来年度のスケジュールについて、スタッフ体制について)</p> <p>(3) 協会の体制について (パラサポートの終了について、会計について、事務分担について、協会メールについて、理事増員について)</p> <p>(4) HPについて</p> <p>(5) その他</p>
	討議内容	<p>(1)</p> <p>1. 第14回日本大会の反省と課題 70万で赤字となった。アクアティックから50万円寄付があった。リレー申込書・ドーピング検査について・来賓への対応・表彰の進行について・参加人数が増えた(SNSの影響)などいくつか反省と課題が出てきた。参加人数を増やすための策の一つとして、知的障害の選手の日本大会参加へのメリット(例: ジャパンパラへの予選大会とするなどの工夫)が必要だという意見から、豊田理事長から佐野知的連盟会長に相談をした。</p> <p>2. 来年度の第15回日本大会について 第15回の開催日は2020年9月22日(火・祝日)で決定。相生プールで開催。大平理事が兵庫県水泳連盟のオキさんと野村さんに挨拶し、開催予定について話してある。協力してくれるとのこと。予算を抑えるためにどう方法で実施していくか話し合った。(プログラムを手作りしたり、メダルをお菓子に変えるとか…)</p> <p>(2)</p> <p>1. 来年度のスケジュールについて 午前の強化会議で話した通りに資料で再度確認した。</p> <p>2. スタッフ体制について 鈴木理事と猪飼監事は東京パラの関係で9月まで活動縮小。藤川は私事都合で1年間休み。向さんは仕事の都合でスタッフを降りる。河原さんは私事都合でスタッフを降りるため、来年度のスタッフ人数が減少するため新規スタッフを増やす必要がある。ろう者同士でコミュニケーション取りやすいと考え、ろう者のスタッフが増やして欲しいという意見があった。ろう者健常者関係なくスタッフを募集して欲しい。SNSを活用してボランティア募集をし、まずはお手伝いから始めてもらい、スタッフとしての承認は理事会にて話し合うということを全理事が了承した。募集などの対応は藤川が行う。</p> <p>(3)</p> <p>1. パラサポートの終了について 3/7の春季パラの午後に選手と保護者へ説明するための資料(お知らせと交通費と宿泊費支給規定)を確認した。交通費と宿泊費支給規定は、実施してから1ヵ月以内にJPCに報告することを選手や保護者へ連絡する。HPにも掲載する。改めて世界大会の自費については確認したが、アジア大会の自費についてはろうあ連盟から請求する前に竹中会長と相談してろうあ連盟に確認するようにする。お金を集める方法について、皆さんからの意見: スポンサー・SNSを活用して協会のPR・会社や地域へのPR(社会貢献活動)等</p> <p>2. 会計について 杉野さんが実家へ戻るため、会計できる方を探す必要がある。大平理事の知り合いで協力いただけるかを大平理事が確認し、3月22日の理事会にて再度検討する。会計士の給与はJPCの助成で対象なるかは分からないため確認する必要がある。</p> <p>3. 事務分担について 6月で全員が任期満了なることから、豊田理事長より全員に重任の打診があった。これに対し、全員が快諾した。次に、来年度の事務分担として、今年度と同様、日本大会は大平理事が、強化は鈴木理事が担当し、事務局は設けないこととする。また、豊田理事長と鈴木理事は協会の口座番号と暗記番号でうちよダイレクトにて共有する。大会実行委員会については大平理事とどなたかに管理する。</p> <p>4. 協会メールについて 前回設定変更をした。いつも通りに豊田理事長から受信した内容を確認してから指示する。</p>

5. 理事増員について

豊田理事長より、2023年世界大会向けの準備と2021年協会設立20周年迎えるため、現在の理事+新しい理事で活動していきたい。しかし、この10年間は、今の理事・監事でまずは基盤づくりをしたい。そこを目前に次の世代に交替していきたいとの意見が出された。これらについては、竹中会長とも相談して進めていく。次期の新しい理事は平田さんに決定した。カバナンスコードの説明を受けて今後は協会規程に理事人数を5名から7名に変更する。(女性人数を増やす等…)

6月の定期総会終了後から新しい組織でスタートすることを全員確認した。

(4)

第3回理事会で話したことと変わりはない。HPサイバーの更新が2/17。新しいHPを変える時間が間に合わないため、このまま継続更新して頂く。新しいHPについては金持さんと相談しながら進めていく。現在のHPにPDFを掲載して更新することは可能。

(5)

- ・そろそろ組織の設立20年を迎えることになるため、デフリンピックと併せてイベントを企画したい
- ・会議のスケジュール確認
- ・次回の理事会は3/22(日) 会場は醍醐交流会館 3/22は竹中会長が出席予定

決定事項 上記(1)～(5)において理事全員承認した

添付資料 第14回日本大会の収支計算書2枚 各委員会に関わる担当業務
2020年度日本ろう者水泳協会(合宿・大会) 予定(20年1/29時点)

次回予定 2020年3月22日(日) 13時～17時 醍醐交流会館

監事

理事長

担当

コメント欄

認



理事会 議事録

作成日	2020年5月3日
部署名	理事
担当者	藤川 彩夏

概要	日時	2020年3月22日 13時～17時	場所	醍醐交流会館
	出席者	竹中 芳晴 豊田 律 鈴木 しのぶ 大平 英一 藤川 彩夏 猪飼 聡 手話通訳者2名(交代制) (計8名)		
	目的	第5回理事会		

議事	議題	<p>(1) 来年度の第15回日本大会について</p> <p>(2) 協会事業について (パラサポートの終了による事務所の住所について、来年度の会員登録について、来期理事について、来期の会計担当について、来期の事務分担について、来期の協会メールについて、カバナンスコードについて、スポンサー、収益事業について)</p> <p>(3) 強化事業について (来年度のスケジュールについて、強化に関わる規程変更案について)</p> <p>(4) HPについて</p> <p>(5) その他</p>
	討議内容	<p>(1)</p> <p>・来年度の第15回大会について 別紙に確認しながら話し合った。参加対象はろう者全員と知的選手70名(先着順)。身体選手と健聴者は対象者としな方針。参加費は1人プログラム付きで3000円、ろう協会登録以外の方の登録料は1000円。リレー申込について当日の時間を決めて要項に載せる。水着については、公認水着を着用とする。公認水着を着用しなかった場合は表彰対象としない(記録を公認しない)。知的選手はオープンではなく正式参加とし、メダルを贈呈する。また、知的選手のエントリー種目数は2種目までとする。</p> <p>・要項と申込書について及び知的連盟へのご協力について 要項と申込の発信は6/23以降にする。二次要項については協会のHPに発信する。知的連盟の公認大会としてもらうために佐野会長の内諾を得る。鈴木理事から資料を送って理事会で検討して話すことにした。</p> <p>(2)</p> <p>・パラサポートの終了による事務所の住所について 事務所が豊田の自宅になると公私混同になるため①FAXはネットFAXを活用する。月々1000～1500円で50～100枚まで無料で送受信できる。②有料サービスとしてバーチャルオフィスを活用する月々3500円で郵便物を自宅まで転送サービスがあるが、宅急便の場合は追加料金が発生する。③強化会計関係と日本大会関係の荷物を各担当が預かる。3つの提案について話し合った。豊田さんの家の住所とする(光熱費は請求できる)JPSA・JPCに住所変更することを連絡するようにする。荷物の管理については日本大会関係：大平理事、強化関係：豊田理事長が管理する。</p> <p>・来年度の会員登録について 別紙で内容を確認した。誤字があったため修正して後日にメールして再度確認してから郵送する。</p> <p>・来期理事について 全員継続することを承認した。6月の総会後から平田さんが理事に追加する。</p> <p>・来期の会計担当について 大平理事の紹介で公原さん(会計士・税理士)に協力していただくことになった。協力いただく内容は未定。公原さんからいただいたフォーマットを豊田さんから各担当に送る。担当は強化と法人：豊田理事長と鈴木理事、大会：大平さん。協会内でフォーマット入力して領収書と一緒に公原さんに渡しソフトに入力していただく。会計に関することは、基本的には理事が行い、理事以外に依頼することはしない。理事が行うことを頭に入れておく。協会のうちちょダイレクトのIDとパスワードを豊田理事長と鈴木理事だけ共有するようにする。</p> <p>・来期の事務分担について 強化：鈴木理事と藤川、日本大会：豊田理事長と大平理事、法人窓口：理事全員、まとめ：豊田理事長に決定した。</p> <p>・来期の協会メールについて 平田さんが追加して6名なるが、協会メールの共通アドレスが5つしかないためしばらくは今のメンバーのままで継続する。</p> <p>・カバナンスコードについて 竹中会長からのメールで豊田理事長の認識でカバナンスコードチェックを作成した。チェックした内容を確認して実施すべきことは弁護士と会計士などと相談して整備を進めていく。協会のカバナンスコ</p>

一ドの調査は来年(令和3年)に実施する。理事が以下の疑問なところを竹中会長に確認した。

- ・外部理事は竹中会長や公原さんがいる。
- ・理事10年など：あくまでも原則【例外】もある。これを説明できるようにする(P5の表「自己説明の在り方について」参照)
- ・P10<補足説明>は大事。整理して全員で共有すること。時間を使って話し合っていく。
- ・P38 利益相反は全て×ではない。
- ・今後は、危機管理マニュアルと必要な規程を作成していく

令和3年までにどうしてもできないものは今後ということを進めていく。情報共有していく。6/7の研修内容は今後竹中会長と豊田さんと詰めていく。参加対象はスタッフ10~20名にする。

- ・スポンサー、収益事業について

濱田さんの紹介先から1年10万寄付すると報告があった。豊田理事長から京都の会社に打診予定。シェフコ10万から15万の変更について文章で依頼する。収益事業としてこれまでの活動を引き続ける。企業・スポーツ団体へ講演やぬいぐるみ作成、マーケティングに力を入れるなど新しい提案を話し合った。現在のリーフレットは、文字が多いため、わかりやすく変えていくのがよい。文字で説明すべき箇所は、QRコード等を載せるのも1つの方法である。

(3)

- ・来年度のスケジュールについて

強化会議と理事会の日程10/10を10/11に変更することを確認した。

- ・強化に関わる規程変更案について

鈴木理事から理事全員へ今月末までにメールで確認する。3/22の日付で改訂する。今後は竹中会長に指導を受けて変えていく。

(4)

金持さんにHP担当することを承認いただいた。来年の2月までに新しいHPに変えるように計画的に進む。

(5)

- ・ボランティアスタッフについて

人数不足のためボランティアスタッフを募集すること、募集時期や内容を説明した。訂正して理事に確認メールする。写真掲載(水着のことや顔など)については確認して許可を得てから発信するとよい。ボランティアを経て、スタッフとなる際には、強化委員と理事の承認を得る。

- ・アジア大会のキャンセル料について

選手は自己負担、スタッフの18000円は協会から出す(4人分→72000円)。ただしポロシャツ追加は自己負担する。

- ・2023年世界大会準備委員会について

キックオフミーティングを開催する。対象は竹中会長、豊田理事長、大平理事、猪飼監事。6月にろうあ連盟に正式決定する。決定後、実行委員会に発足する。キックオフミーティングの日程は理事会終了後に決めたい。ミーティングした内容を理事会に報告・共有していく。

- ・定時総会について

6月28日京都市にて開催予定

決定事項 上記(1)~(5)において理事全員承認した

添付資料 第15回日本ろう者水泳選手権大会の開催要項 第2議案の説明
2020年度登録手続き(申請書・会員登録用紙・会費登録費一覧表・アンケートなど...)
ボランティアスタッフ募集について 第9回アジア大会の金額表 第6回世界ろう者水泳選手権大会の開催要項
2019年世界大会の予算書

次回予定 2020年6月28日 9時30分~10時30分 醍醐交流会館 第5会議室

	監事	理事長	担当	コメント欄
認				

理事会 議事録

作成日	2020年6月3日
部署名	理事
担当者	藤川 彩夏

概要	日時	2020年6月28日(日) 9時30分～10時30分	場所	醍醐交流会館 第5会議室
	出席者	竹中 芳晴 豊田 律 鈴木 しのぶ 大平 英一 藤川 彩夏 猪飼 聡 公原 手話通訳3名(交代制) (計10名)		
	目的	第6回理事会		

議事	議題	(1) 定時総会の資料 確認		
	討議内容	(1) 資料の内容を確認した。指摘あった内容を定時総会開始前までに修正する		
	決定事項	上記(1)において理事全員承認した		
	添付資料	第4回定時総会		
次回予定	第4回定時総会 2020年6月28日 10時30分～12時 醍醐交流会館 第5会議室 第1回理事会 2020年6月28日 13時15分～17時 醍醐交流会館 第5会議室			

	監事	理事長	担当	コメント欄
認				